

6月定例会

総括質問

主な質問と答弁

松本 敏子 議員

生活保護基準の見直しから

問 生活保護法改定の問題は、生保の支給申請を抑制させる「水際作戦」を合法化する点にある。申請の抑制によって、全国で餓死者や自殺者が出ている。今回の改定を市はどう考えるか。

福祉部長 法改正の目的は書類添付の規定を明確にするもので、方法は今までと変わらない。申請書類を提出しなくても却下とはならない。憲法25条の理念に基づき、人権を尊重し、適正な保護の実施に努める。

二・一・ひきこりの若者の就労支援

問 二・一や引きこもりの若者が増えている。市として社会的就労支援の取り組みが必要ではないか。

福祉部長 福祉総合相談窓口と連携し、対応したい。

渡辺 敏光 議員

子ども・子育て支援新制度について

問 新制度で本市の幼稚園と保育園がどう変わるのか。

健康・子ども部長 幼稚園、保育園の所管が内閣府に一本化され、例えば幼稚園では、保育機能を持つ「幼稚園型認定こども園」となることも可能である。

問 横浜市では、認可保育所の4分の1が株式会社による運営だが、本市における参入の考え方を伺う。

日本共産党平塚市議会議員団

問 以前、「生活保護の相談に行ったが帰され、後に自殺した」とも調べることはできない」と担当課から聞いたが、今でもそうか。

福祉部長 実際にそういう方がいたか、また調査しているか不明である。

問 平塚市では毎年、多くの自殺者が出ている。それが把握できなければ、生活保護事業の検証も、自殺対策もできない。実態を調べ、生活苦の人が適正に保護を受けられる体制を作ることが必要ではないか。

福祉部長 福祉総合相談窓口と連携し、対応したい。

厨芥類資源化施設導入調査報告書から

問 全量焼却と比較してメリットがないとの調査結果が出たが、どう考えるか。

環境部長 今後、施設整備の必要性について慎重に検討することを、大磯町・二宮町と確認した。

問 住民へのごみ減量の啓発活動とともに、事業者が排出するごみの抑制も必要だが、指導の状況を伺う。

環境部長 事業者にごみの減量計画書の提出を求めているが、搬入量は増えており、大型処理機などの導入をお願いしている。

健康・子ども部長 不採算による急な撤退や、突然の倒産などの不安要素もあるため、現時点では計画に入っていない。

問 本市の「幼保一元化に関する検討会」の中間報告には、正規雇用の保育士などが持つ質の高い教育水準を地域に還元するとある。そのためには公立幼稚園や保育園を一定数残すことが一番の方法ではないか。

健康・子ども部長 すべてを民営化するのではなく、5〜6園の民間園に対して公立園を1園配置すること

無所属

江口 友子 議員

学びの機会均等を教育長

「現状維持したい」
問 経済的な理由で就学が困難にならないよう学用品費等を支給する「就学援助制度」の対象者と基準は、**学校教育部長** 生活保護受給世帯のほか、申請により前年度収入が生活扶助基準の1・35〜1・5倍の世帯に支給する。

問 生活保護法の改正で生活扶助基準が下がることが予想されるが、支給レベルと支給額を維持してほしい。

無所属

吉野 和美 議員

財政と事務事業の進行管理について

問 今後、経常収支比率と公債費負担比率の悪化は避

問 結局、集めたプラクルはすべて焼却している。「排出抑制こそが大事なんだ」とPRするべきである。また、本市は炊飯器や電子レンジなどの小型家電のリサイクルを始めようとしているが、移送後、破砕して焼却することになる。コストを考慮し、再度検証してほしい。

環境部長 どのような方法がよいか検討中である。

けられず、地元経済の停滞や、懸念される税収の低下による財政の窮乏が身近に迫っている。政策の危機ともいえるべき発想に立ち、撤退、廃止、凍結、中止を含む政策変更を大胆に行っていくべきではないのか。

企画政策部長 政策の重要度や緊急度、財政状況や市民のニーズなどを総合的に判断し、状況に応じて、事業の凍結や廃止を検討することも必要と考えている。

問 行政施策の中で一番大切な総合計画に対しても、もっと大胆な政策変更が必要だと思う。当然、抵抗はあるが、ためらったり対応が遅れたりすれば、大きな損失と困難が生まれる。市長がリーダーシップを前面に出して方向性を示し、職員士の士気を鼓舞できるようにしてほしい。

な体制をとり、物事を進めるべきではないか。

市長 行政をつかさどり、進めていくことは私の責任である。市の理事者などには自分の意思を伝えていく。平塚をどのようにしていくかしっかりと指示をして、それに沿って行政サービスを進めていきたい。

問 余裕のあるうちに、事業を今一度見直すべきだと思う。歳出を削減するだけでなく、基礎的財政収支の改革自体が進まなければ、困難だけが見える。その結果、市民が負担を受けることになってはならないと考えるが。

市長 総合計画への位置づけなどを含めた中で決断していきたい。反発もあると思うが、十分に説明し、判断を下していきたい。



プラクルの分別をするリサイクルプラザ

無所属

江口 友子 議員

学びの機会均等を教育長

「現状維持したい」
問 経済的な理由で就学が困難にならないよう学用品費等を支給する「就学援助制度」の対象者と基準は、**学校教育部長** 生活保護受給世帯のほか、申請により前年度収入が生活扶助基準の1・35〜1・5倍の世帯に支給する。

問 生活保護法の改正で生活扶助基準が下がることが予想されるが、支給レベルと支給額を維持してほしい。

問 4月の豪雨の際、橋を渡るルートで避難誘導が行われた。また避難所が開かず、雨の中待たされる事態が起こったが、どこに問題があったのか。

市長 一時避難所が活用できなかった点は、今後地元とも連携し、安全な誘導に努める。避難所の早期開設に向けて体制も見直した。

問 堤防のかさ上げと、五領ヶ台高校跡地への避難所の設置はどうなったのか。

市長 堤防のかさ上げ工事は7月に完成する。避難所設置は県に再度要望した。

れなかった点は、今後地元とも連携し、安全な誘導に努める。避難所の早期開設に向けて体制も見直した。

問 堤防のかさ上げと、五領ヶ台高校跡地への避難所の設置はどうなったのか。

市長 堤防のかさ上げ工事は7月に完成する。避難所設置は県に再度要望した。

平塚市議会WEB



市議会ホームページで議員の構成や市議会のしくみなどを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

6月定例会の会議録は8月下旬に市議会ホームページに掲載します。



平塚市議会 検索

専決処分を承認 市議会5月臨時会

去る5月16・17日の両日、平塚市議会は臨時会を開催し、正副議長や常任委員会委員などの改選を行いました。

また、この臨時会では、市長から専決処分の承認や行政委員の選任にかかる議案などが提出され、審議の結果下表のとおり承認・同意しました。

5月臨時会 議案の審議結果

番号	件名	結果
市長提出議案	議案第40号 専決処分の承認について(平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
	議案第41号 専決処分の承認について(平成24年度平塚市一般会計補正予算)	承認
	議案第42号 固定資産評価員の選任について	同意
	議案第43号 監査委員の選任について	同意
	議案第44号 監査委員の選任について	同意
報告第2号	専決処分の報告について	